

令和7年度 学校運営計画

1 教育目標

持てる力を高め、心身の調和的発達を促し、
健康で心豊かな児童生徒を育成する。

【目指す児童生徒像】

- (1) 健康でたくましい体をつくる児童生徒（健康）
- (2) 自分のことは自分でする児童生徒（自立）
- (3) 進んで学習に取り組む児童生徒（学習）
- (4) 一生懸命に働く児童生徒（勤勉）

2 経営方針

教育理念の実現に向け、教育関係法規及び宮城県教育基本方針並びに宮城県特別支援教育将来構想等に基づき、全職員の総力をあげて、創意と調和のとれた学校経営に当たる。

児童生徒一人一人の実態や障害特性、教育的ニーズ等を十分に把握し、将来の自立と社会参加に向け、個に応じた教育に努める。

3 教育方針

- (1) 児童生徒の人権と人間性を尊重し、深い愛情に裏づけられた教育の実践を行う。
- (2) 児童生徒一人一人の能力を最大限に伸ばすため、個々の発達段階や障害の状態及び特性等を踏まえて、個別の支援計画及び指導計画を作成して指導に当たる。
- (3) 教職員は、教育公務員としての職務を自覚し、本校の教育活動を通して全体に奉仕する使命を果たす。
- (4) 教職員は、相互の信頼と敬愛をもって協力を図り、学校教育目標の達成に努める。
- (5) 教職員は常に研究と修養に励み、教育者としての資質の向上に努める。

4 本年度の重点努力目標

重 点 努 力 目 標
(1) 児童生徒一人一人の教育的ニーズに基づいた学習指導の充実 ・児童生徒の一人一人の実態を適切に把握した上で、個別的教育支援計画及び個別の指導計画を作成して日々の実践に生かすと共に、将来の姿を見据えた指導を行う。 ・小学部から高等部までの系統的な教育課程を編成し、発達段階に応じた指導を積み重ねる。
(2) 教職員の指導力・専門性の向上 ・教職員のニーズに応じた研修会や現職教育を企画・実施し、教員一人一人の特別支援教育の専門性を高める。 ・校内研究を通して、教員が専門的な実践力を培うための有効な授業研究の在り方について探求する。
(3) 安心・安全な学校づくりの推進 ・様々な状況を想定しての実践的な防災訓練や緊急時における対応訓練を実施し、児童生徒が安心・安全して学べる教育環境作りに努める。 ・児童生徒が安全に生活するために施設設備面の老朽化や狭隘化対応に努める。
(4) 校内支援体制と特別支援教育の地域のセンター的機能の充実 ・外部支援機関と連携を図りながら、児童生徒のよりよい生活環境づくりを支援する。 ・学区内の地教委と連携を図り、児童生徒の実態に応じた適正就学の実現を目指す。